



▲決算カード



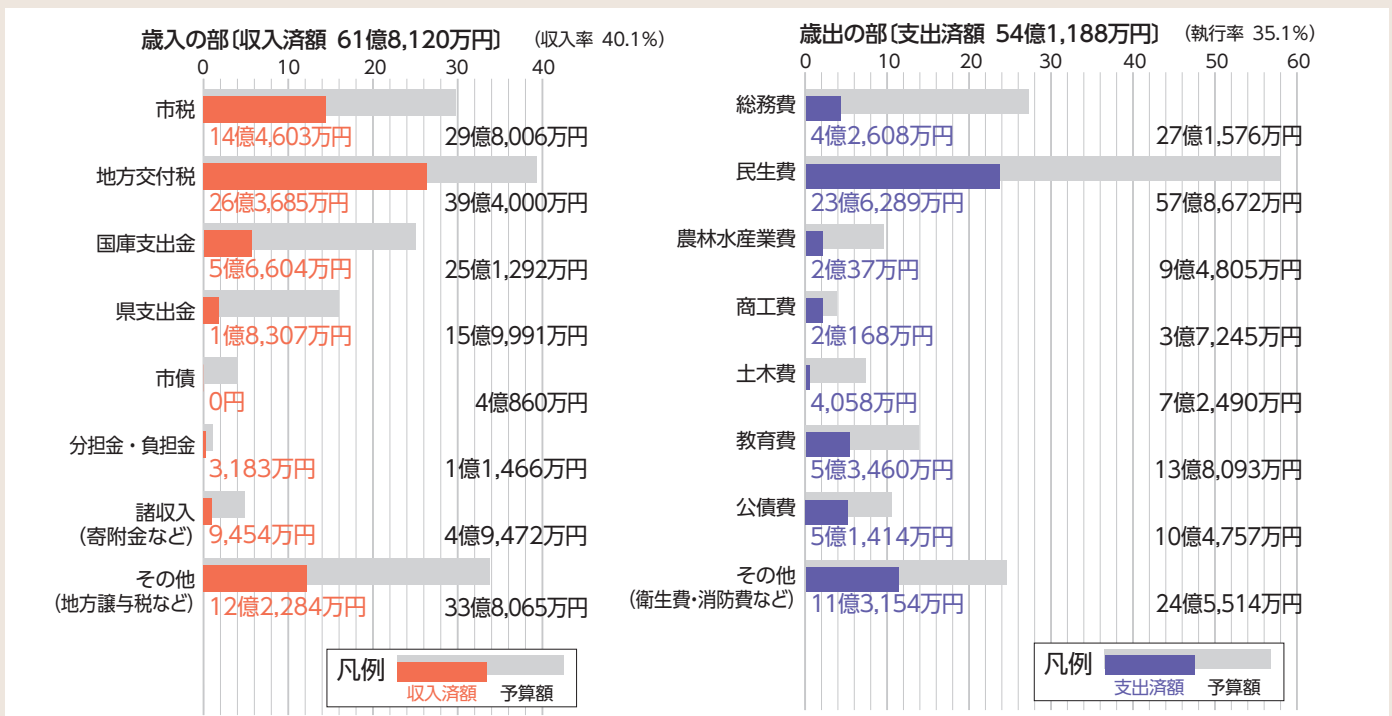
▲財政指標

主な指標	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準	指標の説明
経常収支比率	93.4%	基準なし	基準なし	市税や普通交付税など毎年入ってくる財源がどのくらい自由に使えるかの指標で、財政構造の弾力性（余裕）を示し、低いほど余裕があります。今決算では扶助費の増などが影響し、1.7ポイントの増となりました。
財政力指数	0.47	基準なし	基準なし	市町村の財政力（自前で調達できる財源）を示す指標で、1.00に近いほど財政に余裕があります。本市は例年0.4台を推移しており、自主財源の確保の難しさを表しています。
実質公債費比率	9.3%	25.0%	35.0%	普通会計の公債費と公営企業会計や一部事務組合の公債費に対する普通会計の負担金の合計額を標準財政規模の額で割ったもの。 18%以上で地方債の発行に際し、県知事の許可が必要な許可団体となります。
将来負担比率	101.2%	350.0%	基準なし	普通会計、特別会計、公営企業会計、一部事務組合等の将来の負担すべき実質的な負債の合計額を標準財政規模の額で割ったもの。 起債残高や退職手当、債務負担などが実質的な将来負担の要素となります。

令和6年度 上半期予算執行状況

市では年2回、財政状況の公表を行っています。今回は、令和6年度上半期（9月30日まで）の予算執行状況をお知らせします。

〔一般会計（予算額154億3,152万円）〕



〔特別会計〕

会計名	予算額	収入済額（収入率）	支払済額（執行率）
国民健康保険	37億8,229万円	13億2,957万円（35.2%）	13億9,755万円（36.9%）
後期高齢者医療	5億4,424万円	1億5,697万円（28.8%）	1億2,417万円（22.8%）
計	43億2,653万円	14億8,654万円（34.4%）	15億2,172万円（35.2%）

〔企業会計〕

会計名	収益的収入執行額	収益的支出執行額	資本的収入執行額	資本的支出執行額
水道事業	2億5,056万円	8,783万円	0円	1億2,330万円
下水道事業	4億1,783万円	1億3,538万円	2,952万円	2億3,791万円
計	6億6,839万円	2億2,321万円	2,952万円	3億6,121万円